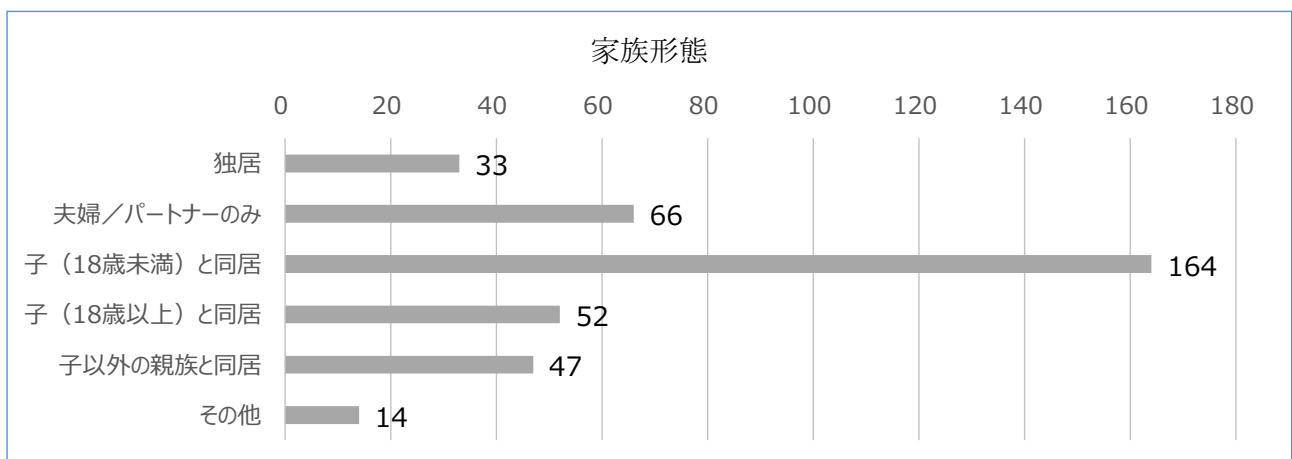
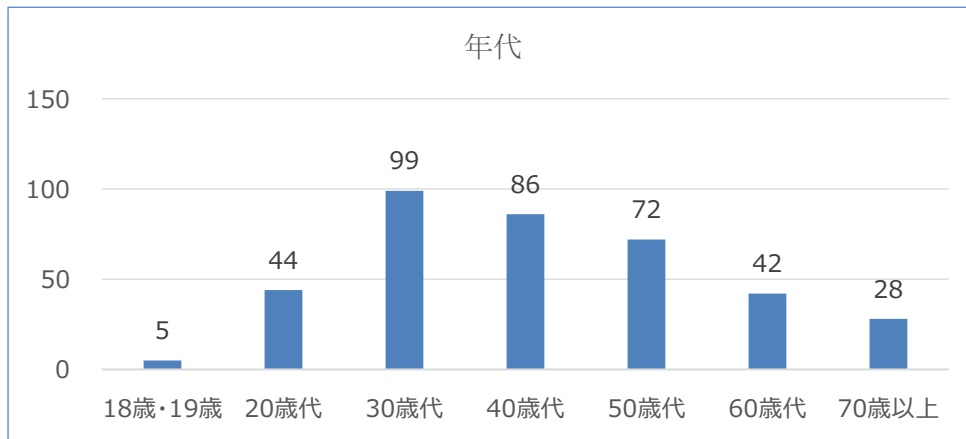
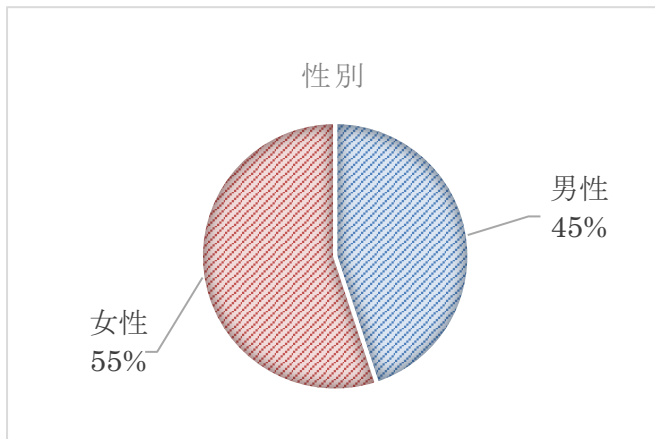


令和3年度 第5回 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 「南海トラフ地震について（その1）」
調査結果 令和3年9月10日（金）～令和3年9月24日（金）
回答者数 376人
対象モニター数 400人
回答率 94.0%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】



【概要】

1. 南海トラフ地震への備えについて

約 71%の人が「南海トラフ地震」という言葉を『内容まで含めて知っている』、約 29%の人が『内容まではわからないが、聞いたことはある』という結果で、知らないという人は 0%でした。

また、大規模な地震が発生し津波警報などが発表された場合などで、市から避難指示が発令された場合、短期間の避難については自宅近くの指定避難所、もしくは、自宅の安全な場所に避難する（在宅避難）ことを検討している人が多く、長期間の避難については自宅の安全な場所に避難する（在宅避難）、もしくは津波が来ない親戚・知人宅へ避難するという人が多い結果となりました。

2. 分散避難について

分散避難（在宅避難、親戚・知人宅への避難、ホテルへの避難、車中泊など）という言葉について、約 44%の人が内容まで含めて知っており、聞いたことがある人が約 25%、知らない人が約 31%という結果でした。内容まで含めて知っている人の中で、約 40%の人が検討をしているということがわかりました。

3. 南海トラフ地震など大きな災害に対する備えについて

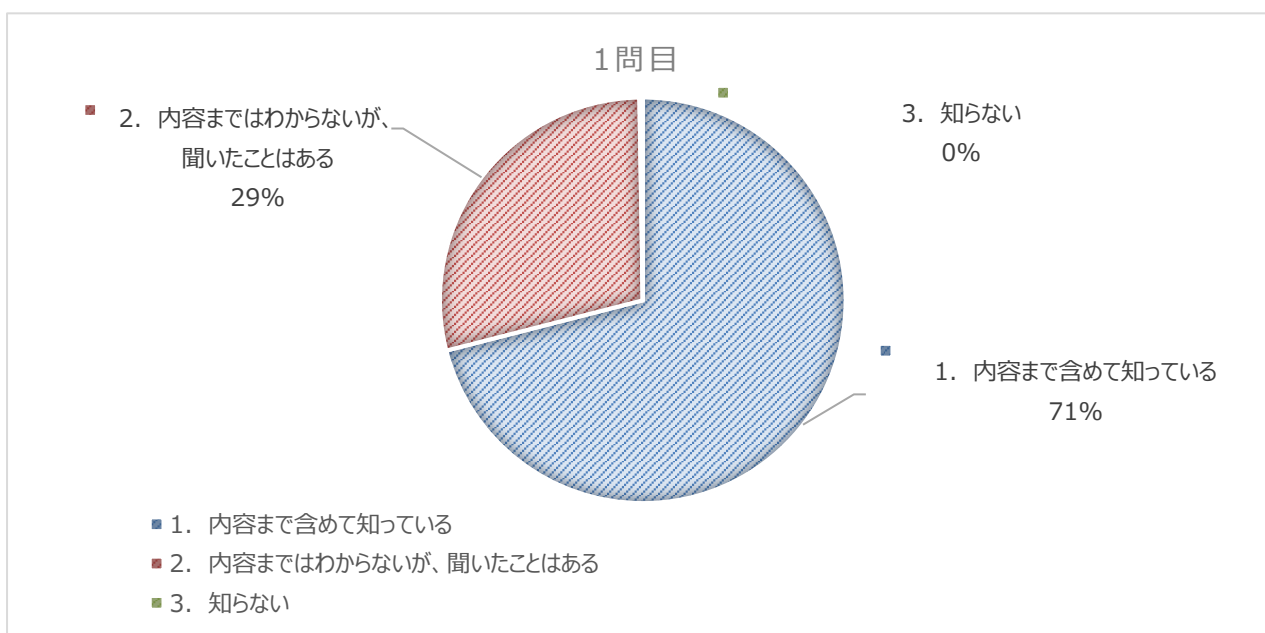
南海トラフ地震など大きな災害に対する備えについて、約 59%の人がしている、約 41%の人がしていないという結果でした。『3 日以上 1 週間未満の水・食料を備蓄している』、『停電に備えて、ライトやラジオ、モバイルバッテリーを準備している』、『近くの避難所や避難場所を確認している』という回答が多い結果となりました。

今回の調査で、「南海トラフ地震」という言葉を内容まで含めて知っている方のうち、半数を超える約 67%の人が災害に対する備えをしているという結果でした。

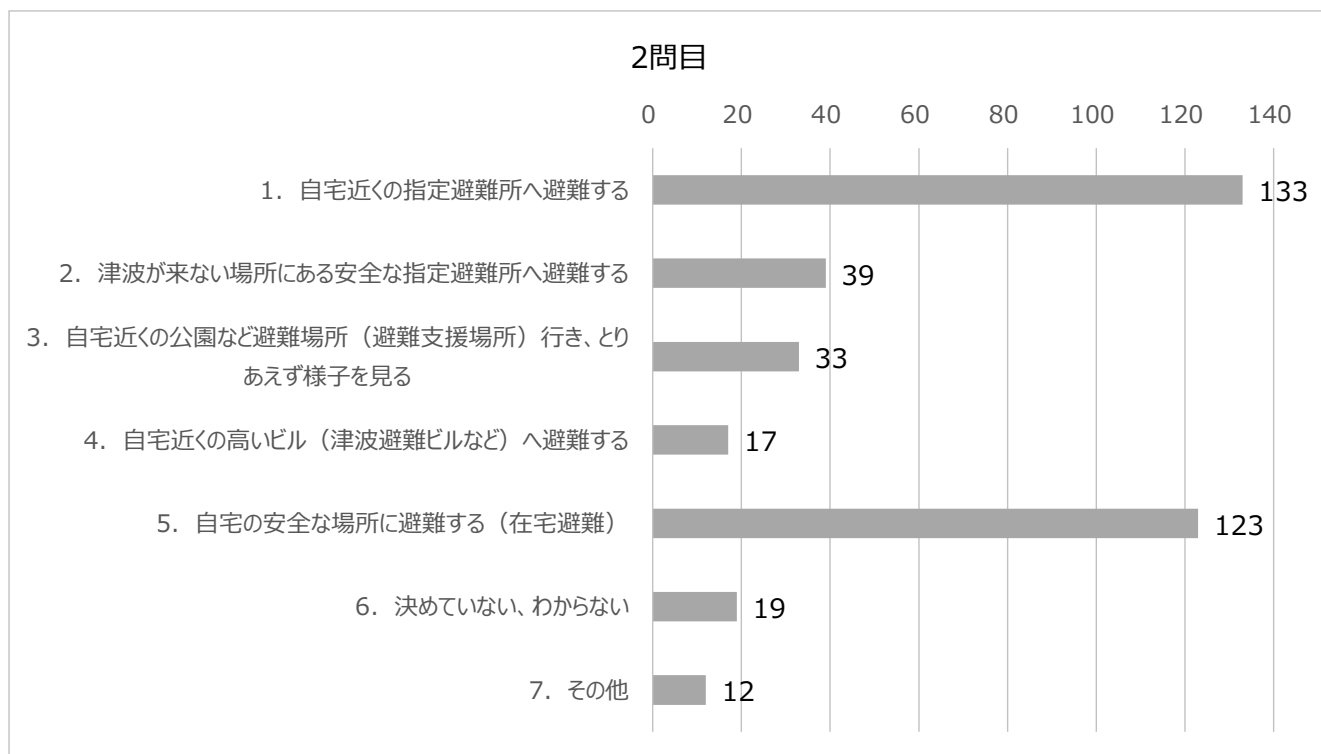
また、「南海トラフ地震」という言葉を内容まで含めて知っている方の内訳として、18・19 歳 約 60%、20 歳代 約 73%、30 歳代 約 69%、40 歳代 約 67%、50 歳代 約 69%、60 歳代 約 79%、70 歳以上 約 82%となっており、年代に関わらず関心が高いことがわかりました。

「南海トラフ地震」について市民のみなさまに知っていただき、備えにつながるよう、啓発を続けてまいります。

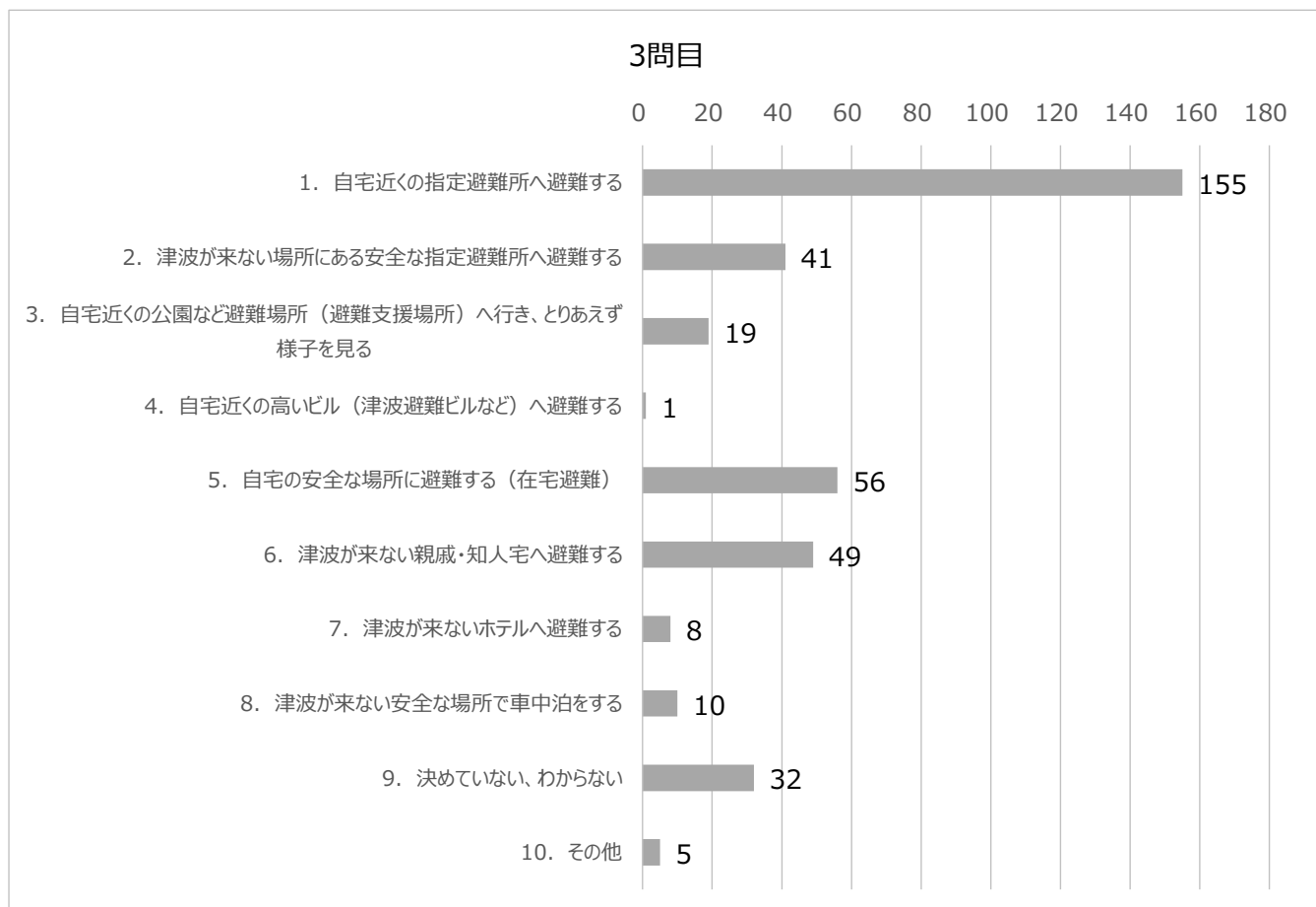
設問 1. 「南海トラフ地震」という言葉を知っていますか。



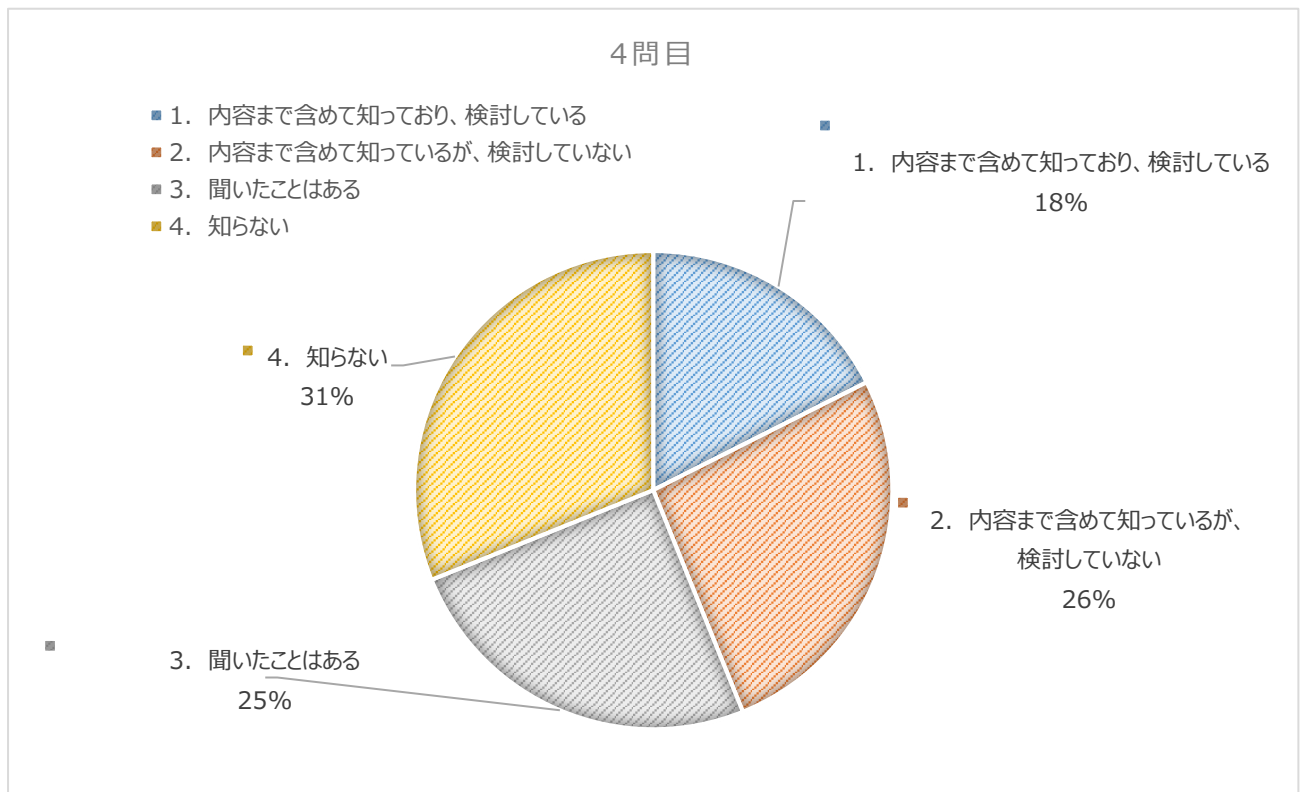
設問 2. もし、あなたが自宅にいるときに、大規模な地震が発生し津波警報などが発表された場合などで、市から避難指示が発令された場合、最初にどこへ避難しますか。



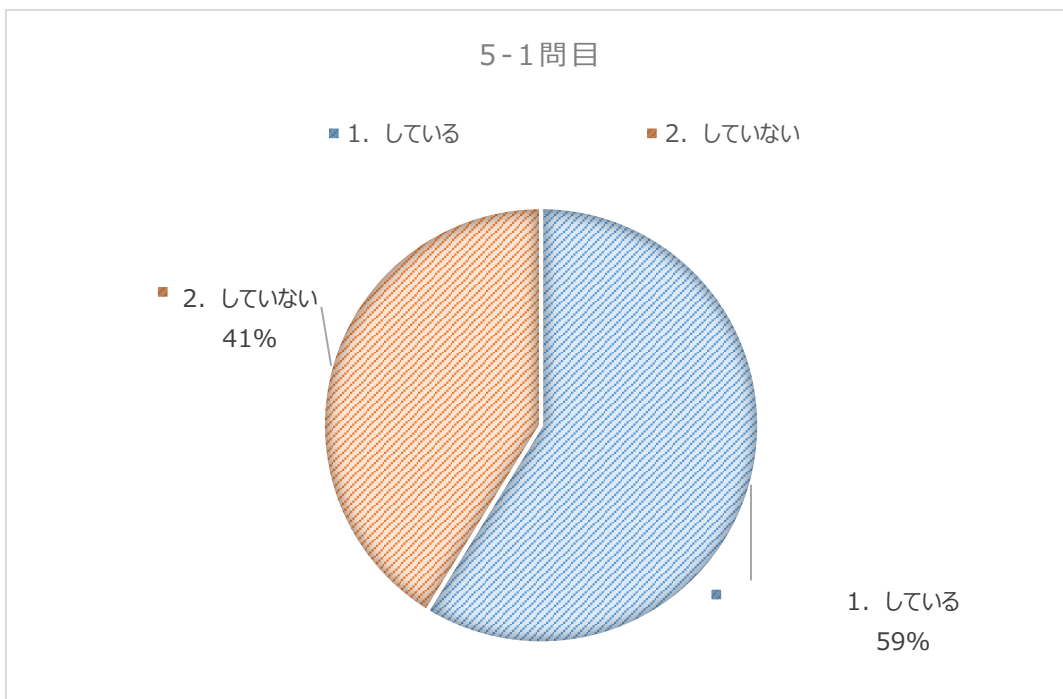
設問 3. もし、あなたの自宅が大規模な地震・津波などにより被害を受け、長期間の避難生活を要する場合、どこに避難しますか。



設問 4. 「分散避難（在宅避難、親戚・知人宅への避難、ホテルへの避難、車中泊など）」という言葉を知っていますか。



設問 5-1. 南海トラフ地震など大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。



設問 5-2. 5-1で「1.している」を選択した方にお聞きします。どのような対策をしていますか。
あてはまるものをすべて選択してください。(複数選択可)

